

やさしさ♡ありがとう 善意銀行だより

(10/1～10/31受付分)
(順不同、敬称は略させていただきます。)

◆金銭預託

☆供養として

山崎町野	田 中 美千代
一宮町生栖	田 路 義 久
一宮町三方町	新 藤 和 美
一宮町東市場	小 林 英 生
一宮町東公文	秋 田 忠 臣
一宮町上野田	新 田 敏 治
一宮町東市場	河 野 芳 朗
一宮町生栖	田 路 正 幸
一宮町東公文	田 中 正 春
一宮町深河谷	小 林 茂
一宮町須行名	田 谷 万里子
波賀町小野	稲 田 光 夫
波賀町原	杉 本 英 子
波賀町日見谷	早 川 秀 子
千種町西河内	亀 井 政 幸

☆見舞返しにかえて

一宮町安黒	小 阪 博
波賀町飯見	中 田 つね子
波賀町上野	野 毛 さくゑ
波賀町小野	清 水 恵美子
波賀町斉木	寄 川 保 寿
波賀町谷	岸 本 ヨシノ
千種町河内	林 光 男

☆結婚祝い返しにかえて

千種町奥西山	前田芳穂 知恵
--------	---------

☆出産内祝いとして

山崎町五十波	鶴崎和史 喜子
--------	---------

☆地域福祉のために

山崎町大才町	神 山 満 子
山崎町宇原	匿 名
山崎町西鹿沢	匿 名
山崎町土万	土万老人クラブ
一宮町百千家満	石 垣 猛
一宮町須行名	松 川 清 子
波賀学童保育所	

手をつなぐ育成会波賀支部

(メイプル福祉まつり売り上げの一部)

千種町黒土	岸 本 勝
千種モータース杯ゴルフコンペ参加者一同	

☆福祉用具のお礼として

山崎町木ノ谷	匿 名
山崎町千本屋	西 川 清 弘
一宮町安黒	小 林 辰 夫
波賀町斉木	匿 名

金銭預託合計

1,076,759円

あたたかい善意の預託
ありがとうございました。

◆物品預託

☆古切手・使用済みテレカ・ベルマーク・書き損じはがき・未使用はがき

山崎町山田	今 津 智比呂
山崎町門前	安井登記測量事務所
山崎町中比地	(株)平見 窯 業
山崎町大才町	上 木 三千子
山崎町東横須	畑 いちゑ
山崎町中井	宍粟自動車産業協業組合
山崎町高下	間 村 初 子
山崎町段	木 村 久 子
山崎町東鹿沢	高 野 留 美
山崎町中野	成 浦 はる子
山崎町山田	やまね 薬 局
山崎町出石	織 金 義 雄
山崎町川戸	南 光 正 和
山崎町	匿名 3 件
一宮町須行名	山 崎 運 送 (株)
一宮町楽里	渡 部 京 子
一宮町嵯峨山	溝 口 久 子
一宮町生栖	目 叶 タマエ
一宮町西安積	植 田 哲 夫
一宮町東市場	ラクティーなかお
一宮町	繁盛地区婦人会
一宮町	三方地区婦人会
一宮町百千家満	匿 名
波賀町上野	滝 本 豊 店
波賀町上野	滝 本 信 子

波賀町斉木	榎 木 善 子
波賀町今市	中 岡 宣 子
波賀町斉木	長 井 美椰子
波賀町上野	神 路 工 務 店
波賀町日見谷	いなかもん屋
波賀町上野	匿 名
千種町黒土	柳谷自動車鋳油
千種町下河野	池 本 光 男
千種町河呂	高 下 一 男

しそう森林組合

宍粟市立山崎小学校

宍粟市立一宮給食センター

宍粟市立千種給食センター

宍粟市総務部税務課

宍粟市福祉部社会福祉課

☆日用品

♪紙オムツ・尿とりパット

一宮町須行名	藪 根 幸 人
一宮町東公文	秋 田 忠 臣
一宮町西深	小 田 健 二
一宮町東市場	匿 名

♪弁当ふろしき(給食サービスへ)

波賀町上野	中 島 イツ子
-------	---------

☆食料品

♪野菜(給食サービスへ)

山崎町	スマイルグループ
山崎町	伊水グループ
山崎町	土万グループ
山崎町	菅野グループ
一宮町関賀	匿 名
一宮町上岸田	匿 名
一宮町福知	匿 名
千種町鷹巣	金 本 卓 磨

♪もち米 30kg

波賀町斉木	藤 原 正 憲
-------	---------

オレンジリボンは児童虐待防止のシンボル

子どもへの虐待をなくそう



2004年9月、栃木県小山市で二人の幼い兄弟が虐待の末、橋の上から川に投げ入れられて亡くなる事件が起きました。その事件をきっかけに子ども虐待防止を目指した小山市の「カンガルーOYAMA」が、2005年にオレンジリボンキャンペーンを始めました。その後、このオレンジリボンは、NPO法人日本子どもの虐待防止民間ネットワークに引き継がれ、現在、児童虐待防止運動のシンボルとなっています。そして、この11月は、児童虐待防止推進月間となっています。

ちなみに全国の児童相談所が対応した子どもの虐待相談件数は、昨年度で4万件を超え、毎年増加の一途をたどっています。

児童虐待防止法では、子どもの児童虐待を発見したら市役所や子ども家庭センターへ通報する義務があると規定されています。

みなさん。子どもたちを虐待から守り悲惨な虐待死亡事件をなくし、虐待によって子どもが命を落とすことのない社会をつくるために、オレンジリボンをつける運動にご協力下さい。